

化学工学会第 51 回秋季大会 次世代物質・材料探索のための新たなアプローチ 報告書

オーガナイザー

高見誠一(名古屋大学)(文責)

遠藤 明(産業技術総合研究所)

2020 年 9 月 24～26 日にオンラインで開催された化学工学会第 51 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 8 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 25 日 13:15～17:00 8 件(招待講演 3 件、依頼講演 1 件を含む)
会場	E 会場
聴講者数	50 名
招待講演	『キャタリストインフォマティクスによる触媒反応の収率予測』矢田 陽氏(産業技術総合研究所) 『スマートフロープロセスによる機能性材料開発の高速化を目指して』陶 究氏(産業技術総合研究所) 『粗視化シミュレーションと機械学習の連携による高分子材料の高次構造設計』青柳 岳司氏(産業技術総合研究所)
依頼講演	『離散曲面論とその材料科学への応用』内藤 久資氏(名古屋大学)

以上